

標 題 : Dietary Fat, Olive Oil Intake and Breast Cancer Risk  
食事脂肪、オリーブ油摂取および乳癌リスク

---

著 者 : J. M. Martin- Moreno, et al. [スペイン マドリード  
Escuela Nacional Sanidad(国立衛生学校) 疫学生物統計学科]

---

掲 載 誌 : Int. J. Cancer 58: 774-780 (1994)

---

要 旨 : スペインにおける食事と乳癌に関する住民に基づいた症例-対照研究の一部として、乳癌の原因における食事脂肪および植物油の役割を調べた。  
新たに乳癌と診断され組織学的に確認された 18-75 歳の女性 762 人、およびランダムに選んだ対照の女性 988 人が、認証済の半定量食品頻度アンケートを完了した。  
各食品項目および栄養素について、摂取水準にしたがって被験者を 4 区分し、最低区分を基準として用いた。  
総エネルギー摂取および他の交絡因子を調整してから、女性全体および閉経前と閉経後の女性に分けて多重ロジスティック回帰を使用した。  
  
閉経前および閉経後の女性で、総脂肪摂取量も特定の種類の脂肪も乳癌と有意な関連がなかった。  
しかし、オリーブ油(1 価不飽和脂肪が多い)の高い摂取は、乳癌の低いリスクと有意な関連をして [摂取量 4 区分での最高の最低に対するオッズ比(OR)=0.66 ; 95%CI 0.46-0.97]、有意な摂取量-反応動向を伴った。  
  
これらの調査結果は総脂肪摂取量と乳癌リスクとの間の関連を裏付けないが、オリーブ油と乳癌リスクとの間の逆関連の証拠を提供する(1 価不飽和脂肪との逆関連も示唆される)。

---